

## 事前質問・意見一覧表

## 1.被災者の生活再建

## (1)生活支援の充実

## 質問

No.	内容	担当課
1	<p>施策シート：P4 14</p> <p>県等義援金の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方々から多くの義援金が寄せられていることは大変頭が下がる思いです。こうした義援金はどのような組織がどのような方針で分配されているのでしょうか。</li> </ul> <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本赤十字社などの義援金受入団体等で構成する「義援金配分割合決定委員会」から被災都道県に配分された義援金と、県が直接受入れた義援金について「青森県東北地方太平洋沖地震義援金配分委員会」において配分の対象及び基準等を審議・決定し、県内の被災市町へ義援金が配分されております。</li> <li>・当市では、県配分委員会から配分された義援金について同委員会の決定に基づき、対象となる被災者、世帯へ支給いたしました。</li> </ul>	福祉政策課
2	<p>施策シート：P6 26</p> <p>子どもの心のケアに関する相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災時の子どもの心の傷が、どの程度回復しているのか相談件数から判断できるのではないのでしょうか。震災前後、また、復興途上の現在の各々の相談件数が分かるようでしたら教えてください。</li> </ul> <p>【回答欄】</p> <p>平成23年3月11日の東日本大震災以降の相談件数は以下のとおりとなっています。</p> <p>相談件数：平成22年度1489件(震災はこの年度に入る)</p> <p>平成23年度1260件(震災主訴22件)・平成24年度1978件(震災主訴0件)</p> <p>平成25年度1295件(震災主訴1件)・平成26年度1999件(震災主訴0件)</p> <p>震災時の子どもの心の傷の回復については、相談件数から判断することは難しいと思われま。全相談件数の中で震災を主訴としている相談件数は減少しています。しかしながら、現在も相談の中には、次のような内容のものがあり、震災の時期や折に触れ、心のケアを今後も必要とすると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災の時期になると気になる行動が増える(不眠傾向になる、落ち着かない行動が増える等)・避難訓練に参加できない・地震が起きるとすぐ車の中に避難する・避難ベルを聞くことが嫌だと訴える等。</li> </ul>	こども支援センター

意見

No.	内容	担当課
3	<p><b>施策シート：P9 施策を取り巻く課題や論点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有識者アンケートにおける満足度は、震災後4年を経て、過去3年で最も大きくなっており、生活支援施策が周知徹底され、被災者の状況を踏まえた支援体制が充実してきていると思われます。今後も庁内及び関係機関との連携体制を強化し、重層的な支援を施していただくことを希望します。</li> </ul>	政策推進課
	<p><b>【回答欄】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市では、災害援護資金の無利子貸付、生活必需品並びに被災者生活再建支援金の給付等により、被災者の生活支援の充実に努めてまいりました。</li> <li>また、毎年度、庁内関係課による「東日本大震災被災者支援の情報交換会」を開催し、被災者に対する健康支援や生活支援について情報共有を図っております。</li> <li>今後とも、庁内及び関係機関と連携し、生活面でのきめ細かな支援に取り組んでまいります。</li> </ul>	

**(2) 住宅確保の支援**

質問

No.	内容	担当課							
4	<p><b>意見への対応状況：P3 8</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心住宅リフォーム促進事業について、災害復旧リフォームだけではなく、これからを考えたときに必要となってくる住宅があるのではと考える。これからの促進事業と考えたときにでも、需要は少ないと受け止めるのでしょうか。</li> </ul>	建築住宅課							
	<p><b>【回答欄】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>復興計画に基づく住宅再建支援の観点から、リフォームの需要は一段落したと判断したもの</li> <li>災害復旧に限定しないリフォームは需要があるが、関係課等で実施する既存の支援（木造住宅の耐震化、トイレの水洗化、バリアフリー化改修工事等）を活用可能</li> </ul> <p><b>安全安心住宅リフォーム促進事業実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申請件数（うち被災者分）</th> <th>補助金額（うち被災者分）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24年度</td> <td>92件（60件）</td> <td>15,008千円（9,579千円）</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>244件（45件）</td> <td>33,342千円（7,761千円）</td> </tr> </tbody> </table> <p>被災者訪問等結果（平成26年10月～平成27年4月）            調査対象者(*) 487件のうち、回答者 300件            回答者のうち、住宅再建済 254件（84.7%）、住宅未再建 46件（15.3%）            住宅未再建のうち、リフォームによる再建希望者 22件            * り災区分半壊以上の世帯で、平成25年10月に実施した被災者アンケートで未回答の方又は回答して住宅未再建と判断された方</p>			申請件数（うち被災者分）	補助金額（うち被災者分）	24年度	92件（60件）	15,008千円（9,579千円）	25年度
	申請件数（うち被災者分）	補助金額（うち被災者分）							
24年度	92件（60件）	15,008千円（9,579千円）							
25年度	244件（45件）	33,342千円（7,761千円）							
5	<p><b>意見への対応状況：P4 9</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マッチングができる環境になり、まだそれから5か月しかたっていないが、何か効果や実績数があるのであれば知りたい。</li> </ul>	雇用支援対策課							
	<p><b>【回答欄】</b></p> <p>平成27年1月6日に開設した求人・求職支援サイト「はちのへジョブ市場」の設置効果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就職数：平成25年度7人に対し、平成26年度は21人。（14人の増）</li> </ul>								

意見

No.	内容	担当課																		
6	<p><u>施策シート：P14 施策を取り巻く課題や論点</u></p> <p>・有識者アンケートにおける満足度は過去3年で最も大きくなっており周知が進んでいるものと思われます。住宅再建のニーズを踏まえた各種支援制度の利用促進及び相談体制の充実が、被災者の恒久的な住宅の確保となり実を結びつつあるものと思われます。</p> <p><b>【回答欄】</b>          今後も引き続き利用促進及び相談体制の充実に努めて参ります。          住宅再建に係る補助金実績（平成26年度末まで累計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金名</th> <th>受付件数</th> <th>受付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被災者住宅再建支援事業 （平成24年2月～）</td> <td>47件</td> <td>47,000千円</td> </tr> <tr> <td>被災者住宅再建支援制度 利子補給補助金 （平成24年6月～）</td> <td>91件</td> <td>56,270千円</td> </tr> <tr> <td>被災者定着促進事業 住宅再建補助金 （平成25年7月～）</td> <td>87件</td> <td>275,548千円</td> </tr> <tr> <td>被災者定着促進事業 賃貸住宅定住補助金 （平成25年7月～）</td> <td>51件</td> <td>7,240千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>276件</td> <td>386,058千円</td> </tr> </tbody> </table>	補助金名	受付件数	受付金額	被災者住宅再建支援事業 （平成24年2月～）	47件	47,000千円	被災者住宅再建支援制度 利子補給補助金 （平成24年6月～）	91件	56,270千円	被災者定着促進事業 住宅再建補助金 （平成25年7月～）	87件	275,548千円	被災者定着促進事業 賃貸住宅定住補助金 （平成25年7月～）	51件	7,240千円	合計	276件	386,058千円	建築住宅課
補助金名	受付件数	受付金額																		
被災者住宅再建支援事業 （平成24年2月～）	47件	47,000千円																		
被災者住宅再建支援制度 利子補給補助金 （平成24年6月～）	91件	56,270千円																		
被災者定着促進事業 住宅再建補助金 （平成25年7月～）	87件	275,548千円																		
被災者定着促進事業 賃貸住宅定住補助金 （平成25年7月～）	51件	7,240千円																		
合計	276件	386,058千円																		

**(3) 雇用対策の強化**

意見

No.	内容	担当課
7	<p><u>施策シート：P19 施策を取り巻く課題や論点</u></p> <p>・有効求人倍率の上昇傾向が継続していることは好ましいことです。災害分野及び新分野・成長分野における雇用機会の創出については市として方向性を明示の上、これを積極的に進めることを期待します。</p> <p>雇用維持に向けた中小企業への支援</p> <p>・少子化対策、女性の就労支援で静岡県の施策「このとりカンパニ - 」がありません。子育て支援、女性の就労支援をしている企業に対して、入札、金利優遇などそのような支援がとても大切だと思います。</p> <p><b>【回答欄】</b>          市では、障がい者、中高年齢離職者、未就職新規高卒者、期間満了及び企業整理等非自発的離職者を常用雇用した事業主に対し、雇用奨励金を交付して、雇用の促進と市民生活の安定を図っております。          少子化対策、女性の就労支援等につきましては、就労支援対策の参考とさせていただきます。</p>	雇用支援対策課

**(4) 暮らしの安心確保**

## 質 問

No.	内 容	担当課
8	<p>施策シート：P21 03</p> <p>ドクターカーの運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動型緊急手術室について寄付があるという報道がされましたが、新規導入についてこれからの予定をお聞かせください。</li> </ul>	健康増進課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご寄付いただいた後、市民病院で活用したいと考えています。</li> <li>・市民病院で、緊急自動車への改造及び車両登録等の手続きを行い、その後、運用開始する予定となっています。</li> </ul>	
9	<p>施策シート：P22 04</p> <p>総合保健センターの整備（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合保健センターの整備に伴い、駐車場や隣接する道路の混雑などが問題になると予想されます。これについて、どのような対策を検討していますか。</li> </ul>	総合保健センター推進室
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合保健センターは、市と関係団体がそれぞれ必要な機能を有する施設を整備するものであり、施設によって利用者のピークが異なる。</li> <li>・健診センター等既存施設の利用状況や新設の機能の利用見込等により必要な駐車台数を約 700 台（うち利用者駐車場約 370 台）と見込んでいる。</li> <li>・今後予定される設計業務において、渋滞等が発生しないよう道路からの出入口の位置や数などを検討する。</li> </ul>	
10	<p>施策シート：P22 07</p> <p>災害時要援護者支援事業の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者支援マップシステムとはどういうものなのか。また、このマップシステムの活用方法について伺いたい。</li> </ul>	福祉政策課
	<p>【回答欄】</p> <p>災害時要援護者の支援に必要な情報と、居住地付近の地図情報を一元的に管理できるシステムです。管理している情報の一部は、民生委員や消防本部等の支援関係者に提供し、平常時の見守りや、災害発生時の避難支援などに活用されます。</p>	

## 意見

No.	内容	担当課
11	<p>施策シート：P26 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における保健・医療・福祉の体制整備と連携の強化については、今後も関連する機関との情報交換、体制改革、技術・制度面の改革を継続して、災害に強い地域づくりに結びつけていただきたい。</li> </ul>	健康増進課 総合保健センター推進室 福祉政策課
	<p>【回答欄】</p> <p>(健康増進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度より庁内関係課で組織する「東日本大震災被災者支援の情報交換会」を継続的に開催し、被災者及び支援施策に関する情報共有を図るとともに、連携して支援を実施している。</li> <li>・また、各分野における関係団体等との連携・情報交換の状況等についても情報共有を図っており、今後とも連携体制の強化を図っていききたい。</li> </ul> <p>(総合保健センター推進室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見のとおり、関係機関・庁内関係課と連携し、災害に強い地域づくりに取り組んで参りたい。</li> </ul> <p>(福祉政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者抽出チーム員が一般避難所を回り、一般避難所での生活が困難な避難者(要援護者)を抽出し、福祉的配慮が必要な方は市福祉避難所・施設福祉避難所へ移送の手配をし、医療的な配慮が必要な方は関係課と連携して医療機関へつなぎます。</li> </ul>	

## その他

## 質問

No.	内容	担当課
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災により生活保護を受給するようになった数と、現在どれくらい自立しているか参考にお知らせ願います。</li> </ul>	生活福祉課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災者に係る生活保護開始世帯数 13世帯</li> <li>・上記世帯のうち自立し生活保護廃止となった世帯数 5世帯</li> </ul>	

## 3. 都市基盤の再建

## (1) 市街地の整備

## 質 問

No.	内 容	担当課																		
13	<p>意見への対応状況：P2 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策について、危険等の無い空き家の利活用対策についてはどのように考えていますか。</li> <li>・全国の利活用対策の積極的先進事例を教えてください。</li> <li>・町内会を通して情報をもらうということだが、実施時期などは未定になっているが、どの程度内容が決まっているのか。もし決まっていなるとなると平成27年度中にはどこまで実施可能なのか。</li> <li>・空き家対策特別措置法ができたことにより、空き家対策と安心安全の観点で、町内会や市民の協力を活用する前に対策を講ずることの可能性は。市ができる対策や施策に変化は出てくるのか。</li> </ul>	建築住宅課  建築指導課																		
	<p>【回答欄】 (建築住宅課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「移住・住みかえ支援機構」の「マイホーム借上げ制度」を紹介（住宅を借上げて転貸し、賃料保障）</li> <li>・長岡市の空き家バンク制度（賃貸・売却希望の空き家物件を登録し、利用希望者に情報提供。耐震性など不安要素あり。）</li> </ul> <p>(建築指導課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用等を除く危険な空き家の実態調査について具体的実施内容は未定（空家対策特別措置法を踏まえながら利活用可能物件も含めるかどうかの検討も必要）</li> <li>・本年5月26日、空家対策特別措置法が全面施行されました。これを受け市町村は、空家等対策計画の作成や実施に関し協議するための協議会を組織することができ、当該協議会の構成員として地域住民も含まれています。今後、「空き家対策」を進めていくうえで、同計画策定や同協議会の設立も視野にいれながら、八戸市としてどこまでやるべきか、総合的な検討が必要となります。</li> </ul>																			
14	<p>施策シート：P3 05</p> <p>学校施設の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の耐震化について、平成24年度完了とありますが、耐震化が行われた範囲をお知らせください。</li> </ul> <p>市立小学校・中学校以外で、例えば保育園・幼稚園・高校・大学・専門学校などで、国や県の事業で行われた場合も、分かる範囲でお知らせください。</p>	教育総務課  建築指導課																		
	<p>【回答欄】 (教育総務課)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24学校数</th> <th>耐震診断</th> <th>補強実施</th> <th>補強不要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>46</td> <td>31</td> <td>29</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>25</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>71</td> <td>50</td> <td>46</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>(建築指導課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の保育園・大学・専門学校に限り、当該施設管理者に聞き取りし耐震化の状況について把握（個人情報により非公開）</li> <li>・上記の内、国や県の事業で行われた事例無し</li> </ul>			H24学校数	耐震診断	補強実施	補強不要	小学校	46	31	29	17	中学校	25	19	17	8	計	71	50
	H24学校数	耐震診断	補強実施	補強不要																
小学校	46	31	29	17																
中学校	25	19	17	8																
計	71	50	46	25																



No.	内 容	担当課
15	<p>施策シート：P3 07</p> <p>木造住宅の耐震診断支援</p> <p>・耐震診断を希望する市民へ対応していますが、こうした事業の公募はどのような方法で市民へ周知されているのでしょうか。</p>	建築指導課
	<p>【回答欄】</p> <p>・広報はちのへ</p> <p>・市ホームページ</p> <p>・各市民サービスセンターへポスター掲示</p>	
16	<p>施策シート：P5 12</p> <p>都市計画道路の整備</p> <p>・「3・5・1沼館三日町線」の表現で、3桁の数字「3・5・1」はどのような意味を持たせているのでしょうか。</p>	道路建設課
	<p>【回答欄】</p> <p>国土交通省が定める都市計画運用指針に基づき、路線番号は「道路の区分・幅員の規模・都市計画区域毎の一連番号」の順に番号が付される決まり。</p> <p>最初の「3」は幹線道路を、続く「5」は幅員 12m 以上 16m 未満を表す。</p> <p>八戸都市計画区域内で「3・5」で始まる路線は現在 20 あり、沼館三日町線はその中で 1 番が割り振られていることから、末尾が「1」となっている。</p>	
17	<p>施策シート：P6 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・着々とインフラストラクチャー整備が続けられている感を強く持っています。今後も積極的な整備継続を行っていただくことを期待します。</p> <p>なお、減災の視点に立ったソフト面の対策がどの程度進んでいるのかについては、施策シートからでは分かりにくいことから進捗状況を教えてください。</p>	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <p>主なソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の資機材購入に対する助成（平成24年度～27年度）</li> <li>・防災教室支援（平成24年度～）</li> <li>・津波避難ハンドブックの作成・全戸配布（平成25年3月）</li> <li>・防災マップの改訂（平成25年3月）</li> <li>・スマートフォン向けほっとスルメールアプリの導入（平成26年2月）</li> <li>・防災士資格取得に対する助成（平成26年度～30年度）</li> <li>・津波避難計画の改訂及び津波避難計画図の作成・浸水想定地域への全戸配布（平成27年3月）</li> <li>・防災教育副読本の作成・全児童配布（平成27年4月）</li> <li>・防災市民研修会の実施（平成27年度～）</li> </ul>	

## 意見

No.	内 容	担当課
18	<p>意見への対応状況：P2 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策ですが、各地で問題化しており、そのまま放っておかないように所有者に流動化を促すために今こそ空き家へのリフォーム補助金など使いやすくした補助金制度、優遇策が求められるのでは。</li> <li>・「八戸市空き家等の管理適正に関する条例」は、主に老朽化し危険な状態となった空き家を対象とありますが、街の景観の問題や防犯上の問題もあると思われます。また、実態調査について実施時期は未定とありますが、早めの実施をお願いしたい。</li> </ul> <p>【回答欄】</p> <p>(建築住宅課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な課題と認識しておりますが、現在は被災者の住宅再建に優先的に取り組んでおります。</li> </ul> <p>(建築指導課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用等を除く危険な空き家の実態調査について具体的実施内容は未定（空家対策特別措置法を踏まえながら利活用可能物件も含めるかどうかの検討も必要）</li> </ul>	<p>建築住宅課</p> <p>建築指導課</p>
19	<p>施策シート：P4 11</p> <p>高規格幹線道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車道の整備が進み大変便利になってきましたが、夜間走行時の街灯や反射板などが少なく不安や危険を感じます。緊急時の安全な走行を図るための整備が必要です。</li> </ul> <p>【回答欄】</p> <p>国土交通省の定める道路照明施設の設置基準に基づき、照明などの安全設備が設置されている。特に幅員や線形が急激に変化する場所や橋梁、トンネルなどの場所において必要に応じて設置するとしている。</p>	<p>道路建設課</p>



**(2) 港湾の整備**

## 質 問

No.	内 容	担当課
20	<p>意見への対応状況：P4 9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民から不要との意見を受けて漁港区域の防潮堤設置はしないこととなったとありますが、防潮堤が無いままで、大波や高潮、津波の被害を防ぐことができるか不安です。不要とした理由と被災時の対応について教えてください。</li> <li>・住民説明会の回数と参加人数などは。また、県で計画した防潮堤設置予定と、住民による不要との意見、県や市が取り下げるに至った見解を知りたい。</li> </ul>	水産事務所 港湾河川課
	<p>【回答欄】</p> <p>(水産事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会では、「蕪島周辺等の景観を損ねる」「避難路の整備を優先して欲しい」などの意見があった。</li> <li>・被災時の対応について、津波避難計画に基づいて、迅速且つ的確に避難することとなります。</li> </ul> <p>(港湾河川課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県は、「八戸地区港湾漁港津波高潮対策事業（防護ライン）」について、企業等港湾利用者との意見交換会や住民説明会を実施。</li> <li>・住民説明会は、平成25年5月に4回開催し、出席者数 162名であった。</li> <li>・防潮堤設置予定については平成26年度から平成27年度を予定している。</li> <li>・防潮堤整備に対する意見について、賛成意見があったものの、「防潮堤よりも避難路の確保が重要と思う」、「国立公園の景観を損ねる」、「海が見えないとかえって危険」などの意見もあった。</li> <li>・住民説明会や企業との意見交換会においていただいた意見を踏まえ、行政機関、企業等で構成する「八戸港復興会議」において、別紙資料「八戸港の防潮堤計画」のとおり、防潮堤、緑地嵩上げ、漂流物防護柵等を整備することとし、今回整備を行わない区域については、将来的課題として検討していくこととした。</li> </ul>	
21	<p>施策シート：P9 09</p> <p>八戸港の防災機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八太郎地区の緑地嵩上げ工事は現在進行中ですが、進捗状況と完成見込時期を教えてください。</li> </ul>	港湾河川課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗状況 八太郎地区の緑地嵩上げ工事は平成27年8月発注見込み。</li> <li>・完成見込時期 平成27年度完成を目指している。</li> </ul>	

No.	内 容	担当課
22	<p>施策シート：P9 13</p> <p>コンテナターミナル施設（電源設備等）の復旧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸港のコンテナ貨物取扱量が、P7の参考指標に示されているように年々増えてきていて今後も増えるものと思われるが、現在のコンテナターミナルでは対応できるのか。コンテナターミナルの拡充の見込みについて伺いたい。</li> </ul>	港湾河川課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテナターミナルの年間取扱能力 既設コンテナターミナル取扱能力 約51,000TEU</li> <li>・現在のコンテナターミナルにおける対応 平成26年取扱実績48,136TEU（速報値）と、順調に増加しており、数年後には取扱能力を上回ると見込まれるとのこと。</li> <li>・コンテナターミナル拡充の見込みについて 八太郎2号埠頭南側において、国が航路泊地の浚渫により発生する土砂の処分場を整備中。 国が浚渫土砂処分による埋め立てを完了した後、県がコンテナヤードとして、整備、活用する予定。 コンテナヤード拡充整備後の取扱能力 約69,000TEU</li> <li>・整備スケジュール、完成見込み時期等 八太郎2号埠頭南側の浚渫土砂処分による埋め立ては、平成28年度完了予定であり、その後、県が、平成29年度の完成を目指し、コンテナヤードとして整備すること。</li> </ul>	

## 意 見

No.	内 容	担当課
23	<p>施策シート：P8 08</p> <p>八戸港の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸港のコンテナ貨物取扱量は一昨年、昨年と2年連続し記録を更新していますが、今年に入ってから順調に推移しています。コンテナ貨物の増加に伴い、現在のコンテナヤードの狭隘化が著しくなっており、現在進めている八太郎2号埠頭南部分の埋立・拡張工事の早期完成を要望します。</li> </ul>	港湾河川課
	<p>【回答欄】</p> <p>質問No.22と同じ</p>	
24	<p>施策シート：P11 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾整備は着実かつ迅速に進行していると判断されます。今後は近隣国へのゲートウェイとしてのグローバル物流拠点化としての機能検討が図られることを希望します。</li> </ul>	産業振興課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸港港湾計画で位置づけている「世界に開かれた北東北のゲートウェイ港湾」として、県及び関係団体と連携し、港湾施設の整備を促進するとともに、港湾施設使用料の減免や各種助成制度により海外と結ぶコンテナ定期航路をはじめとした航路の拡充を図り、引き続き八戸港の国際物流拠点化に取り組みます。</li> </ul>	港湾河川課

**(3) 海岸・河川の整備**

## 意見

No.	内容	担当課
25	<u>施策シート：P14 施策を取り巻く課題や論点</u> ・海岸の津波対策が強化され、合わせて河川の津波・高潮対策の強化も施されているものと判断されます。	港湾河川課
	【回答欄】	

**(4) 道路・公園・下水道等の整備**

## 質問

No.	内容	担当課
26	<u>施策シート：P16 05</u> 避難道路等整備事業 ・避難路は夜間にも活用されるものです。夜間使用のための安全対策の工夫はされていますか。	道路建設課
	【回答欄】 ・ソーラー発蓄電タイプの道路照明を設置します。	

## 意見

No.	内容	担当課
27	<u>施策シート：P19 施策を取り巻く課題や論点</u> ・構造物の老朽化は限られた経費で賄わねばならず、種々の機関連携で延命措置が取られることを期待します。	道路建設課
	【回答欄】 (道路建設課) ・車道の舗装は耐用年数20年で設計しています。	道路維持課

**(5) 公共交通の維持・確保**

## 意見

No.	内 容	担当課
28	<p>意見への対応状況：P6 15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者目線から、後期高齢者においてカード発行の手間や経費削減、カード枚数の削減など、保険証・住基カード等も含めた柔軟な発想のもと、庁内横断型の取組が必要である。</li> <li>・ICカード導入には多額のお金が必要ですが、外国などのいい例もあります。乗り換えチケットなどアナログなものでも出来るので、工夫を求めて利便性のあるバス機能を求めたい。</li> </ul> <p>【回答欄】</p> <p>(都市政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICカードの導入に当たっては、高齢者福祉特別乗車証の機能の追加についても検討すべきと考えているが、導入には多大なコストを要し、事業者の負担も相当なものになると考えられることから、現時点での導入は厳しいと考えている。</li> </ul> <p>(運輸管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICカードの導入には多額のコストがかかることから現時点での導入は難しいですが、仮に導入することとなった場合には利用者の利便性を高めるための機能の付加を検討していきたいと考えております。今後数年間はバスの更新による路線維持を最優先としていかなければならないと考えております。</li> </ul> <p>(都市政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性向上に伴う利用者の増加と乗換割引による減収について、経営的な視点から総合的に検討する必要がある。</li> </ul> <p>(運輸管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗換制度については、経営状況やバス運行の定時性・安全性確保等を総合的に考慮しながら検討していきたいと考えております。</li> </ul>	<p></p> <p>都市政策課</p> <p>運輸管理課</p>

No.	内 容	担当課												
	<p>意見への対応状況：P6 15 施策シート：P22 04</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り換え促進制度の導入について、市民目線での事業を展開しているところですが、いろいろと工夫が見え、期待しているので今後も更に推進していただきたいと思えます。</li> <li>乗り換え制度について</li> <li>目的地が同じでもバスの直通が少ないため、倍の料金がかかる例を申し上げます。</li> <li>例えば、旭ヶ丘西口 八戸駅 300円</li> <li>しかし、1日に2本しかないため中心街六日町で乗り換えとなります。</li> <li>よって、通常 片道300円 600円 往復600円 1200円 となり、倍の料金がかかります。</li> <li>市民目線からすると、乗り換えても一律300円でも良いのではと感じます。</li> <li>首都圏では、乗り換えても一律料金を導入しているところが多いと思えます。</li> <li>バスの利用促進を図るため、参考に御検討いただければと思えますのでよろしくをお願いします。</li> <li>22時台に中心街から出発するバスの運行時間について</li> <li>新幹線を利用し八戸駅からバスで中心街、そして乗り継いで自宅のある郊外へ利用する場合、接続できるような時間になっているとより良いと思えます。中心街に降りてもバスがないため、22時台の最終バス時間帯の検討を考えてもよいと思います。</li> </ul>	<p>都市政策課</p>												
29	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗り換え制度について</li> <li>(都市政策課)</li> <li>・利便性向上に伴う利用者の増加が見込まれる一方で、乗換割引による減収について、経営的な視点から総合的に検討する必要がある。</li> <li>(運輸管理課)</li> <li>・現在の上限運賃制度により、直通と乗り換え利用とで目的地までの運賃差が全般的に拡大しておりますが、どちらも制度実施前との比較では値下げしている状況であり、利用者は増えているものの運送収入は減収となっている状況です。</li> <li>(例) 旭ヶ丘西口 八戸駅</li> <table border="1" data-bbox="239 1388 1197 1556"> <thead> <tr> <th></th> <th>上限運賃制度実施前</th> <th>実施後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直通</td> <td>490円</td> <td>300円【190円値下げ】</td> </tr> <tr> <td>乗換</td> <td>590円(280円+310円)</td> <td>550円(250円+300円)【40円値下げ】</td> </tr> <tr> <td>運賃差</td> <td>100円</td> <td>250円</td> </tr> </tbody> </table> <li>・乗換制度については、経営状況やバス運行の定時性・安全性確保等を総合的に考慮しながら検討していきたいと考えております。</li> <li>22時台に中心街から出発するバスの運行時間について</li> <li>(運輸管理課)</li> <li>・22時台に中心街から出発のバスは、現在、旭ヶ丘営業所、是川団地、鮫、岬台団地方面行きがありますが、これ以上の設定は、現在のダイヤ規模や就業条件等を考えると難しいのが現状です。</li> </ul>		上限運賃制度実施前	実施後	直通	490円	300円【190円値下げ】	乗換	590円(280円+310円)	550円(250円+300円)【40円値下げ】	運賃差	100円	250円	<p>運輸管理課</p>
	上限運賃制度実施前	実施後												
直通	490円	300円【190円値下げ】												
乗換	590円(280円+310円)	550円(250円+300円)【40円値下げ】												
運賃差	100円	250円												

No.	内 容	担当課
30	<p>施策シート：P21 03</p> <p>地域公共交通活性化・再生総合事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心街バスターミナルは目的地別の分かりやすさがあり便利な反面、バス停が離れすぎていて高齢者をはじめとする不特定多数の方（旅行者など）へホスピタリティあるものとは言えません。様々な人への配慮から、さらに市民目線の改善が必要と思われます。</li> <li>・市営バスの運転手の接客サービスの向上について、現在は、運転手個人の資質に任せていると思われるため、よい運転手もあれば、言語、態度が横柄な運転手とばらばらである。一定の言語、態度など接客の基本を身につける研修等をしていくことが必要と感じております。</li> </ul> <p>【回答欄】</p> <p>（都市政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の中心街における一方通行や車道の幅員、交通量、バスを停車できる場所、などの交通状況を勘案すると、バス停の変更等は困難と考えている。</li> </ul> <p>（運輸管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のバスの運行本数を維持しつつ更に中心街にバス停を集約していくというのは道路形態や交通量等から考えると、難しいのが現状です。</li> </ul> <p>（都市政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス乗務員の接客サービスの改善を目的とした「あいさつ強化キャンペーン」を平成25年度から定期的実施しており、今後も乗務員の意識の改善を促していく。</li> </ul> <p>（運輸管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員の一定の質を確保するため年4回全乗務員対象に研修を実施し、接客研修も実施しておりますが、全ての乗務員の接客態度が向上するよう今後も積極的に取り組んでまいります。</li> </ul>	<p>都市政策課</p> <p>運輸管理課</p>
31	<p>施策シート：P22 04</p> <p>八戸圏域公共交通計画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道バス乗継も改善しつつありますが、バスとバスの乗り継ぎの利便性向上、さらにバス、青い森鉄道、JR八戸線への自転車持ち込み可能への働きかけが旅行者増加の近道ではないでしょうか。</li> <li>・公共交通の活用ということでツアーを企画し、ここ2年ぐらい頑張っているのは理解できるが、このあたりで、八戸を外へアピールするための方法をとってもいいのでは。市民がもっと八戸を知るための企画をすべきではと感じる。八戸圏域となっているので難しいことがあるのかもしれないが、市独自で観光との連携ですべき。</li> </ul> <p>また、モビリティセンターの役割もこの機会に検討すべきと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低床バス車両の導入について <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート等に基づき、高齢者や障がい者の利便性向上のためにも、低床バスの導入の検討は良い取組であると評価いたします。</li> <li>引き続き利用者に優しい公共交通を推進する意味でも、低床バスの導入の検討をお願いしたい。</li> </ul> </li> <li>・ICカードの導入の検討について <ul style="list-style-type: none"> <li>ICカードの導入については、両替による運行の遅れの解消や乗り継ぎの利便性も向上します。</li> <li>また、乗降実態調査のデータ取りもでき、調査のための人件費を抑えることにもつながることから、ICカードの導入を更に検討されたい。</li> </ul> </li> </ul> <p>【回答欄】</p> <p>（都市政策課）</p>	<p>都市政策課</p> <p>運輸管理課</p>



- ・バスとバスの乗り継ぎ利便性向上について

事業主体が異なる広域路線バスとコミュニティバス等との乗継環境の改善へ向けて、乗継拠点の設定や乗継ダイヤの調整等を検討していく。

- ・車内への自転車持ち込みについて

JR東日本や青い森鉄道では、解体または折り畳んで専用の袋に収納してあれば、無料での持ち込みが可能である。また、路線バスについても、事業者により多少取り扱いが異なるが、一定のサイズ以下のものであれば、手回り品として普通運賃の半額で持ち込むことが可能である。

(運輸管理課)

- ・バスの乗り継ぎの利便性を高める方策を検討していきます。自転車は折りたたみ自転車であれば電車、バスとも持ち込み可能です。

(都市政策課)

- ・圏域だけではなく市内の路線についても、「櫛引八幡宮国宝館」や「八戸酒造」と連携してバスパックを企画・商品化し、路線バスの利用を促進しているところであり、また、今年度新たに「是川縄文館」と「八戸市博物館」と連携したバスパックを企画・商品化する予定としていることから、八戸を知るきっかけの一つになると考えている。

(運輸管理課)

- ・市営バスでは、市の観光課と連携し、種差海岸遊覧バス、朝市循環バスを運行しております。今後も観光関係の路線バス利用が見込まれる場合には関係課と協議しながら検討していきます。

(都市政策課)

- ・低床バス車両の導入について

今後、事業者による車両更新に合わせて低床車両の導入率が段階的に高まるものと考えている。

- ・ICカードの導入の検討について

導入には多大なコストを要し、事業者の負担も相当なものになると考えられることから、現時点での導入は厳しいと考えている。

(運輸管理課)

- ・今年度は15台の低床バスを導入予定であり、引き続き、低床バスの導入に努めていきます。

- ・ICカードの導入には多額の費用を要し、経営上、導入は難しいのが現状です。また、市営バスにおいては、運賃箱から乗降客データが取得できるため、現在は大規模な実態調査は行っていません。

No.	内 容	担当課
32	<p>施策シート：P23 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民へ「八戸市災害時公共交通行動指針」を周知徹底させながら、防災意識向上へ資することを希望します。</li> </ul>	都市政策課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行動指針では、災害時の公共交通に関する運行情報等について、市が一元的に集約し、市民に対してラジオやウェブ、ほっとスルメール等の媒体を通じて情報発信するほか、市役所、中心街、八戸駅の3拠点において紙媒体等により情報発信することとしている。</li> </ul>	

## その他

### 意 見

No.	内 容	担当課
33	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路、港湾等の整備について、実施状況、今後の予定を地図上で全体が分かりやすい説明をお願いします。</li> </ul>	道路建設課  港湾河川課
	<p>【回答欄】</p> <p>(道路建設課) 別紙資料「青森県主要幹線道路網」、「津波避難路・県都市計画道路 位置図」のとおり</p> <p>(港湾河川課) 別紙資料「3. 都市基盤の再建 (2)港湾の整備 (3)海岸・河川の整備 位置図」のとおり</p>	

## 共通事項・全体的事項

## 質 問

No.	内 容	担当課
34	<p><b>意見への対応状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【対応状況の区分】において「<input type="checkbox"/> = 意見をふまえ対応に努めている」と、「<input type="checkbox"/> = 意見を参考に検討段階」の違いは何でしょうか。「<input type="checkbox"/>」印は予算化されて実施している状況で、「<input type="checkbox"/>」印は計画を立案し、予算獲得に努めているというような理解でよろしいのでしょうか。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算化されていない場合でも、意見に対応した取組を進めている場合は「<input type="checkbox"/>」としています。</li> <li>・意見を参考に、予算化も含め検討・研究している場合は、「<input type="checkbox"/>」としています。</li> </ul>	政策推進課
35	<p><b>施策シート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興施策により「完了」となる事業が増えつつあり、頼もしいところです。復興施策シート全般に見られる事業の完了についてお伺いします。完了と判断する要件はどのようなもののでしょうか。時限設定のものはその時期に到達したことで完了とすることは理解し易いところです。また、調査事業は対象となる範囲・条件が網羅されることで完了との理解でよいのでしょうか。さらに、支援事業では、支援希望が無くなることはなかなか無いと思われませんが、時間経過や予算範囲等で判断されるのでしょうか。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時限設定の事業、調査事業については、お見込みのとおりです。</li> <li>・支援事業については、その事業目的が達成されたなど、様々な理由により、事業が終了したものについて完了と表記しております。</li> </ul>	政策推進課
36	<p><b>施策シート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業の事業費の部分で、事業主体が国や県の場合、事業費が掲示されていません。市民としては住んでいる地域にどれくらい経費が投入されているのかを知りたいところでもあります。掲示には難しいところがあるのでしょうか。</li> </ul> <p><b>【回答欄】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県主体の事業について、当市のみを対象としている事業や当市への配分が公表されている事業については事業費の掲示が可能です。</li> <li>・次回より、可能な範囲で事業費を掲示するよう対応してまいります。</li> </ul>	政策推進課